

講義名	公務員特別演習				授業形態	
担当教員	三原 裕子 / 楠本 寛		開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
			単位数	2	履修開始年次	2年生
主題と概要						
【目的】 公務員特別演習は、公務員を目指す経済学部生を対象とする、1年後期（演習 ）から4年前期（演習 ）まで一貫したプログラムである。「究極のサービスマン」とも呼ばれる公務員は、様々な分野で、多くの人の暮らしを支える非常にやりがいのある職業である。したがって、この演習のみで合格できるほど公務員試験は甘くない。また知識をただ暗記し、他者からの指示がなければ行動できない人材も求められてはいない。つまり公務員試験には、自ら考え、仲間とともに言葉のない問題に挑戦できる総合的な人間力が求められているのだから（まさに本学が掲げる「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材）。そこで本演習は、高いモチベーションを維持しながら試験対策を効果的に継続できるように、様々なヒントを段階的に与えることで、公務員を目指す諸君をサポートしていく。						
【内容】 2年生後期の公務員特別演習 は以下の二つを中心に実施する。 （１）公務員研究 自らの希望職種について、その仕事内容や直面する課題等を幅広く調べ、レポートにまとめて提出する。 そのレポートに基づき、学期末にはクラス内でプレゼンテーションも行う。 （２）地域研究 現在地域社会が抱えている様々な問題を整理することで、自身が公務員としてどのように地域とかわかろうとするのかについて、しっかりとイメージすることを目的とする。授業後半ではそれを成果物とす てまとめ、プレゼンテーションを行う。 この経験を通じ、現在、特に公務員幹部候補生に求められる企画・運営力、想像力、共感力、コミュニケーション能力等を磨く。						
【意義】						
到達目標						
・希望する公務員について理解を深め、「なりたい自分」を目指した効果的な試験対策を進めることができるようになる。 ・授業を通じて、主体的に考え、仲間と協力して行動する習慣を身につけられると同時に、文書作成、プレゼンテーションができるようになる。 ・公務員試験や民間企業採用時に求められる「教養問題」の基礎を習得できるようになる。						
提出課題						
（１）公務員研究 学期末レポートの提出およびクラス内でのプレゼンテーション（1月を予定）が求められる。 （２）地域研究 地域社会が抱えている様々な課題を整理し、それに対する提言等をまとめたものを、レポートとして提出およびプレゼンテーションを行う。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
（１）公務員研究 クラス内での発表時に担当教員からフィードバックが行われる。 （２）地域研究 授業後半において、外部講師、クラスの受講生および担当教員よりフィードバックが行われる。						
評価の基準						
以下の3点を加算して評価する。 （１）公務員研究のレポートおよびプレゼンテーション（40％） （２）地域研究の成果物および成績（40％） （３）受講態度（20％） 上記内容が変更された場合、(1)、(2)の評価のウェイトが変更されます。これについては、授業中に詳しく説明を行います。						
履修にあたっての注意・助言他						
・本クラスは、真剣に公務員試験合格を目指す学生を対象とする。 ・少人数の演習形式を目指している。全員参加を基本とする（理由なく遅刻・欠席しないこと）。 ・本プログラムの学習のみで合格できるほど、公務員試験は甘くない。本クラスはあくまでも公務員志望者のサポーターである。受講生諸君が独自に試験対策を練り、自習を重ねる必要があることは言うまでもない。 ・学内の公務員試験対策講座（3年生から始まる有料講座）等の受講、もしくは外部専門学校の受講（ダブルスクール）も強くお勧めする。 ・「基礎技能B」以外の関連する正課授業も、順次、履修することが望ましい。 （共通）法学入門、経済学入門、政治学、財政学、地域まちづくり概論、業界研究（官公庁） （行政職）民法A・B、憲法、行政学、地方行政論、地方財政論、経済数学、ミクロ経済、マクロ経済						
教科書						
参考図書						

その他		
・公務員特別演習 （2年前期）で使用した教科書（大賀英徳『公務員試験 現職人事が書いた「公務員になりたい人へ」の本 2022』実務教育出版、2020年）を本演習でも使用する（予定）。		
授業計画		
1. 授業の概要 2. 公務員試験の動向 3. 公務員による講話 4. 公務員による講話 を踏まえたディスカッション 5. 地域研究 6. 地域研究 7. 試験対策演習（教養問題） 8. 試験対策演習（教養問題） 9. 試験対策演習（教養問題） 10. 公務員による講話 11. 地域研究 12. 外部講師による講話 13. 地域研究 14. 地域研究 15. 地域研究発表会 *スクロール。内容は変更の可能性があります。 *公務員による講話は、神戸市、兵庫県等を予定しています。		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
☐ ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
☐ ウ：ディスカッション、ディベート	☐	エ：グループワーク
☐ オ：プレゼンテーション	☐	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間		
公務員特別演習 では、公務員研究、地域研究を行う。そのため、必ず授業時間外の学習が重要となる。公務員研究では学期末レポートに向けて毎週2 時間程度、地域研究に関しては、毎週2～4時間程度のグループワーク等の準備作業が必要となる。		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
本演習は以下のディプロマポリシーと関連する。 【流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力】 「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材 知識を知識に転換することができる。論理的思考力を持った人材 創造力 新しい視点と豊かな発想 を持った人材 自主・自立の精神を持った人材 仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材 豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」となるための基礎能力		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
実務経験あり（楠本） 具体例などを授業の中で紹介する。		
備考		
授業計画は2022年度のもので、調整を行う中で計画から変更される場合があります。		